

進路について考える ～進路関連行事の実施～

5月末に、進路関連の行事を実施しました。氷上西高校の卒業生40名のうち半数の約20名が卒業後に地元の企業に就職をしています。そして残りの20名のうち約半数の10名程度が4年制大学・短大へ、10名程度が専門学校へ進学しています。また、進学を希望している生徒にも大学・短大・専門学校を卒業したら丹波市で働きたいという地元志向が強く、「輝く地域の星となれ」を学校スローガンとして掲げていますが、卒業後にたくさんの方が地元丹波市で活躍しています。

生徒が「働く」ことに対するより具体的なイメージを持ってもらいたいという思いから、今回の進路関連行事を実施しました。卒業後の進路を決めるのは簡単なことではありません。しかし、少しでも早く方向性を定めることができれば、進路実現に向けた準備にも早く取りかかることができる。仮に途中で変更することがあっても構いません。準備したことは決して無駄にはなりません。それよりもなかなか決められずに、手つかずで何もしないまま時間が過ぎていくことの方が無駄なのではないでしょうか。

① 5月26日(金)「ようこそ先輩」～西高OBと語る進路座談会～(全校生対象)

湊川短期大学(保育幼児教育)2年生の足立さん(平成27年卒)、元看護師の岡田さん(平成10年卒)、JA丹波ひかみ総務部人事教育課の荒木さん、株式会社「ご近所」ITエンジニアの湯山さん、ワタナベカンパニー代表の渡辺さんに講師をお願いして、大学生活や目標、仕事観や職場で求められる人材等についてお話していただきました。



② 5月29日(月)校内進学相談会、高校生対象企業紹介セミナー(3年生対象)

3年生の進学希望生徒を対象に、生徒が希望している大学・短大・専門学校等から担当者に来ていただき進学相談会を実施しました。また、就職を希望している生徒は、丹波市・篠山市内の企業が各社の魅力を紹介するイベント「企業紹介セミナー」参加しました。大学、短大、専門学校、地元企業の方から直接お話聞く貴重な機会になったと思います。

③ 5月30日(火)看護師養成セミナー(看護関係への進学・就職希望者対象)

看護師を志望する生徒に対して、将来にわたって地元の医療機関で活躍し、地元の看護を担う生徒を育てることを目的として、柏原高校、氷上西高校、氷上高校が共同し、丹波市立看護専門学校の協力を得て講座を実施します。全13回の講座の第1回が実施され、柏原病院の中川副院長兼看護部長から、看護師の仕事内容・役割とやり甲斐、平成31年度に完成する「県立丹波医療センター(仮称)」についてお話がありました。

(校長 高橋信之)